20150318版

平成27年度特別経費（機能強化関連プロジェクト分）
概算要求事項

申請事業名：海外サテライト形成による ASEAN横断型環境・社会イノベーター創出事業

京都大学

地球環境学堂、農学研究科、工学研究科、人間・環境学研究科、国際交流推進機構

要求のポイント：「現地語を使える日本人高度実務家・日本語を使える現地人実務家を、現地大学と協力して、修士課程3年間のダブルディグリーで育成。そのため、クロスアポイントを活用した京大サテライトを海外に設置するとともに、日系グローバル企業等からなるコンソーシアムを応援団として学生の実務教育、就職斡旋などを行う。

---

1. 事業の目的・必要性　京都大学

日本とASEAN諸国との連携の重要性
ダイナミックかつ喫緊の環境・社会問題
多様な地域性と技術・システムの不適合

＋ 国策としての国際競争力強化と実践人材の養成

地域性を理解し，**環境・社会問題の解決を実践する技術系グローバル人材のニーズ**

海外サテライトをベースとした ASEAN型適正技術イノベーション人材の創出

分野横断・学際性 | 課題解決力 | 国際産学連携による実践性 | 適正技術リテラシー | 豊かな語学・多文化理解

地域に適合した技術革新を起こす人材育成のモデル

育成する人材（環境・社会イノベーター像）：
多文化環境でリーダーシップを発揮する理系人材

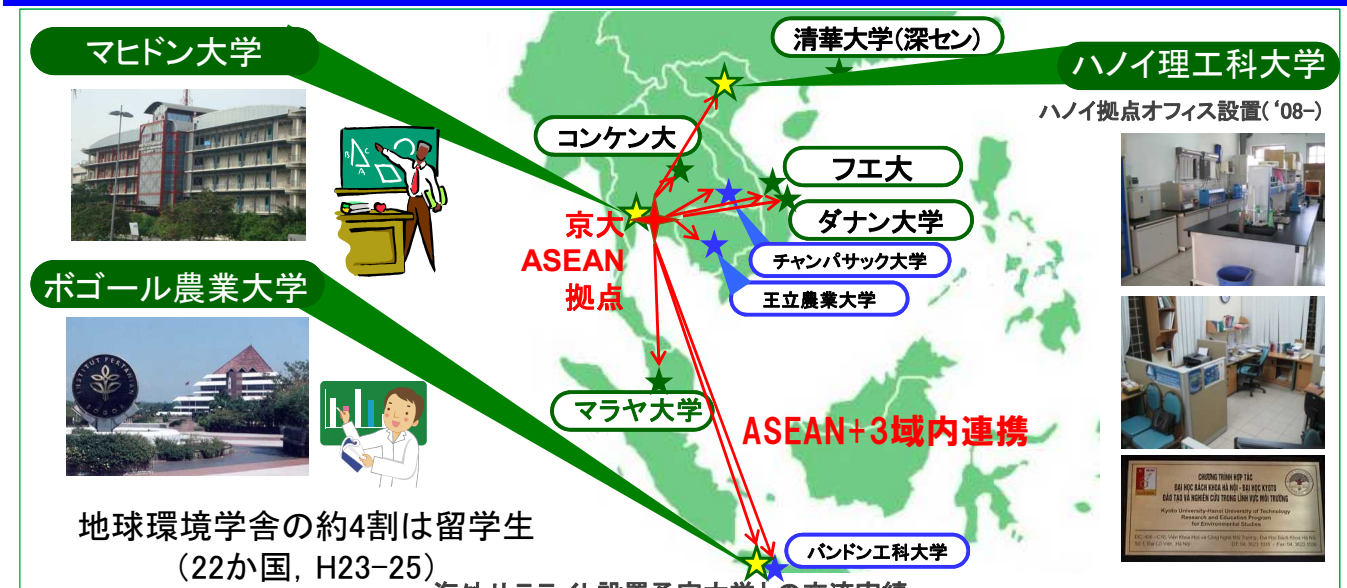
- 地域理解・多文化協働により新たな価値を生み出す企業技術者・社会起業家
- 科学技術外交を促進する行政人材
- 国際産学連携を担う実践的研究者

波及効果

- ✓ 多文化協働モデルによる教育のグローバル化
- ✓ 国際産学連携を生かした実践人材育成モデル
- ✓ ASEAN型多文化イノベーションの新機軸
- ✓ 日本企業のASEAN展開の起爆剤
- ✓ 相互の自助努力を基本とする海外拠点モデル

2. 実績と準備状況(パートナー大学)

京都大学



地球環境学舎の約4割は留学生
(22か国, H23-25)

海外サテライト設置予定大学との交流実績

拠点大学		ハノイ理工科大学(ベトナム)	ボゴール農業大学(インドネシア)	マヒドン大学(タイ)
協定		部局間(H20), 大学間(H21) 部局間学生交流(H25)	部局間(S58), 大学間(H25) 部局間学生交流(H25)	部局間(H19), 大学間(H26)
実績	京大留学受入	学位留学(10) 短期留学(5)	学位留学(14) 短期留学(8)	学位留学(1) 短期留学(3)
実績	インターン派遣	14人	4人	9人

関連事業

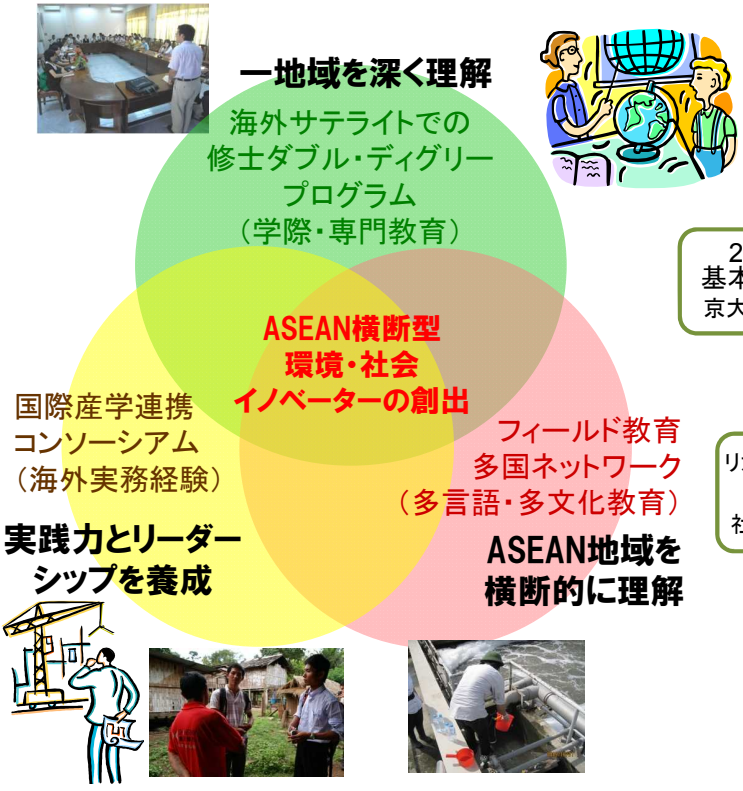
戦略的環境リーダー「環境マネジメント人材育成国際拠点」(S評価:H20-24)
グローバルCOE「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」(A評価:H20-24)
/「極端気象と適応社会の生存科学」(H21-25)
G30「京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム(K.U.PROFILE)」(H21-25)
世界展開力「強靭な国づくり」(H23-27) /「日ASEAN双方向人材」(H24-28)
リーディング大学院「グローバル生存学」(H24-30)/「思修館」(H24-30)

3. 事業概要

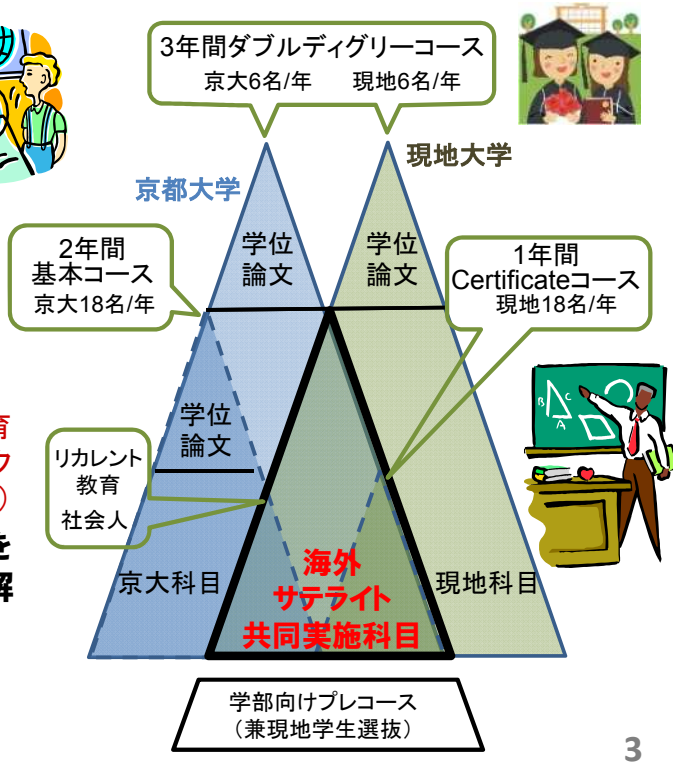
京都大学

海外サテライト形成によるASEAN横断型環境・社会イノベーター創出事業

本事業の3軸



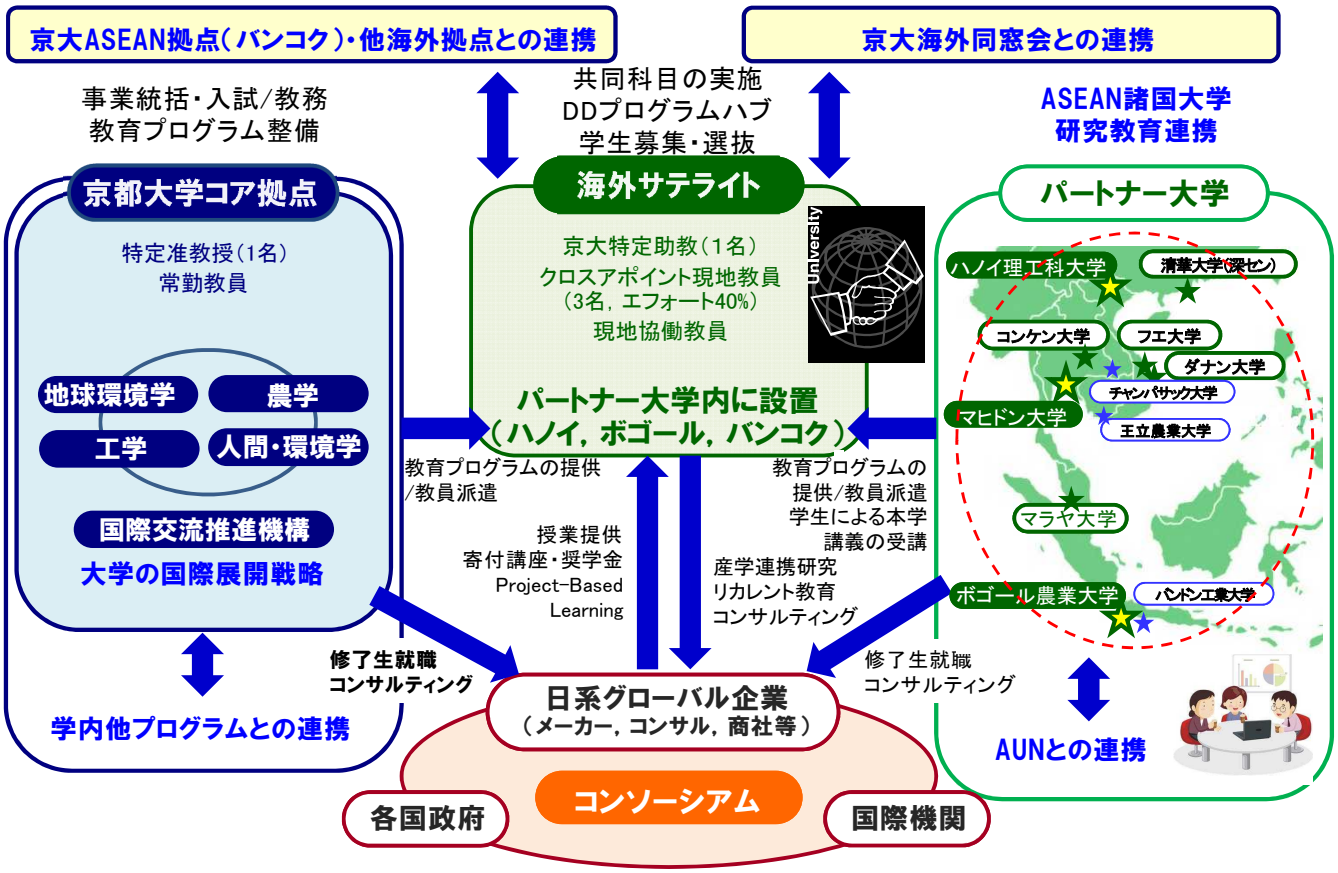
海外サテライトをベースとした教育プログラム



4. 実施体制

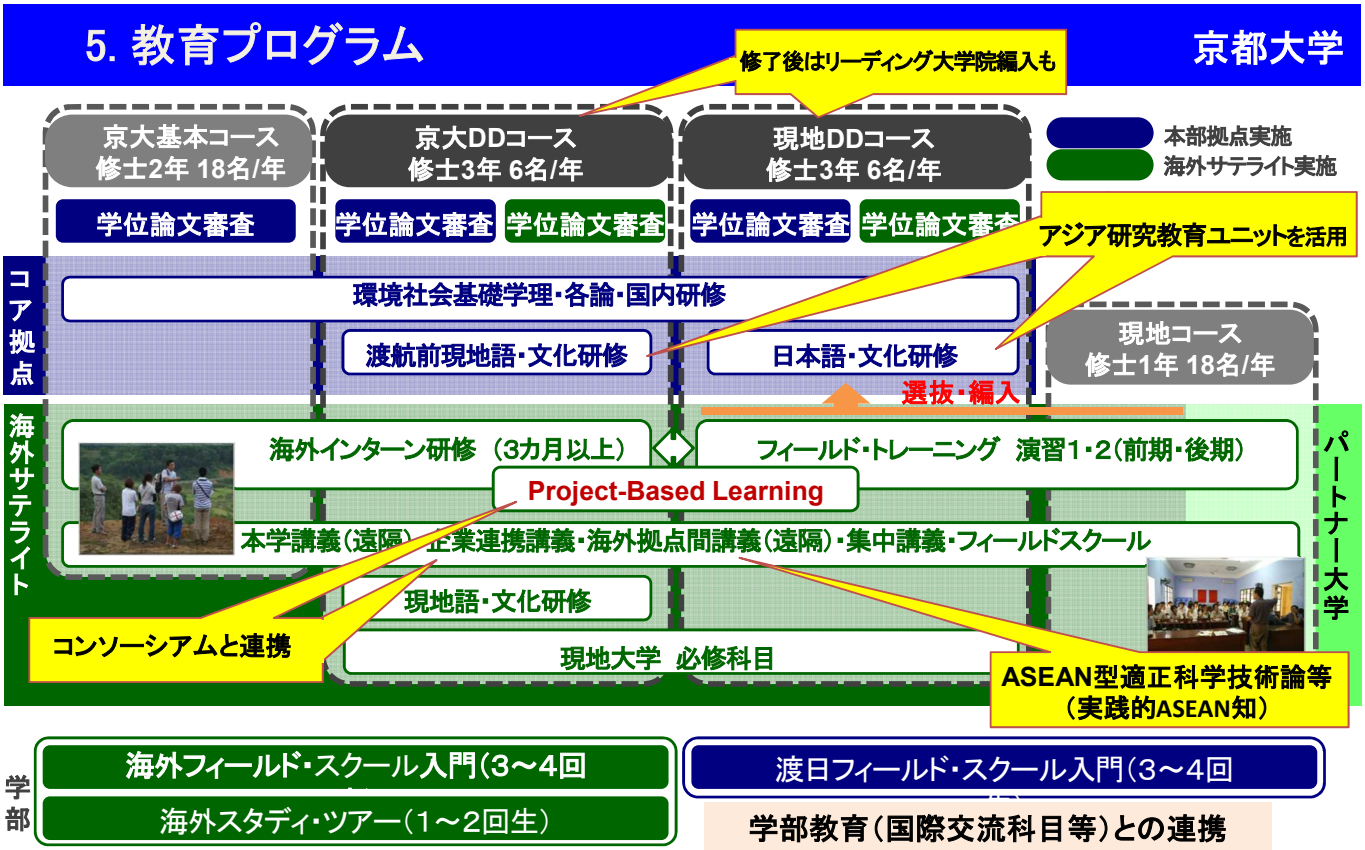
京都大学

京都大学のASEAN横断的な分厚い実績をベースとした多国教育連携



5. 教育プログラム

京都大学



環境・社会問題のT字型理解 ＋ ASEAN地域多様性のT字型理解 ＋ 実践力

(学際講義＋専門学位研究) (拠点横断講義・実習＋DD留学・現地学位論文) (Project-Based Learning)

現地語・日本語教育以外はすべて英語

6.成長戦略と大学の機能強化への取り組みとの関連性　京都大学

常駐・半常駐教員を配置した海外拠点運営の実績に基づく先駆的事業

日本国の成長戦略・国際展開への貢献

- これからの大学教育等へのあり方について（第三次提言）の5課題に対応
  グローバル化に対応した教育環境，社会を牽引するイノベーション創出のための教育・研究環境，学生を鍛え上げ社会に送り出す，社会人の学び直し，大学のガバナンス改革
- 日系グローバル企業の海外展開のパイオニアとなる国内および国外実務人材の創出と、その活動の総括的協働組織（コンソーシアム）の創設

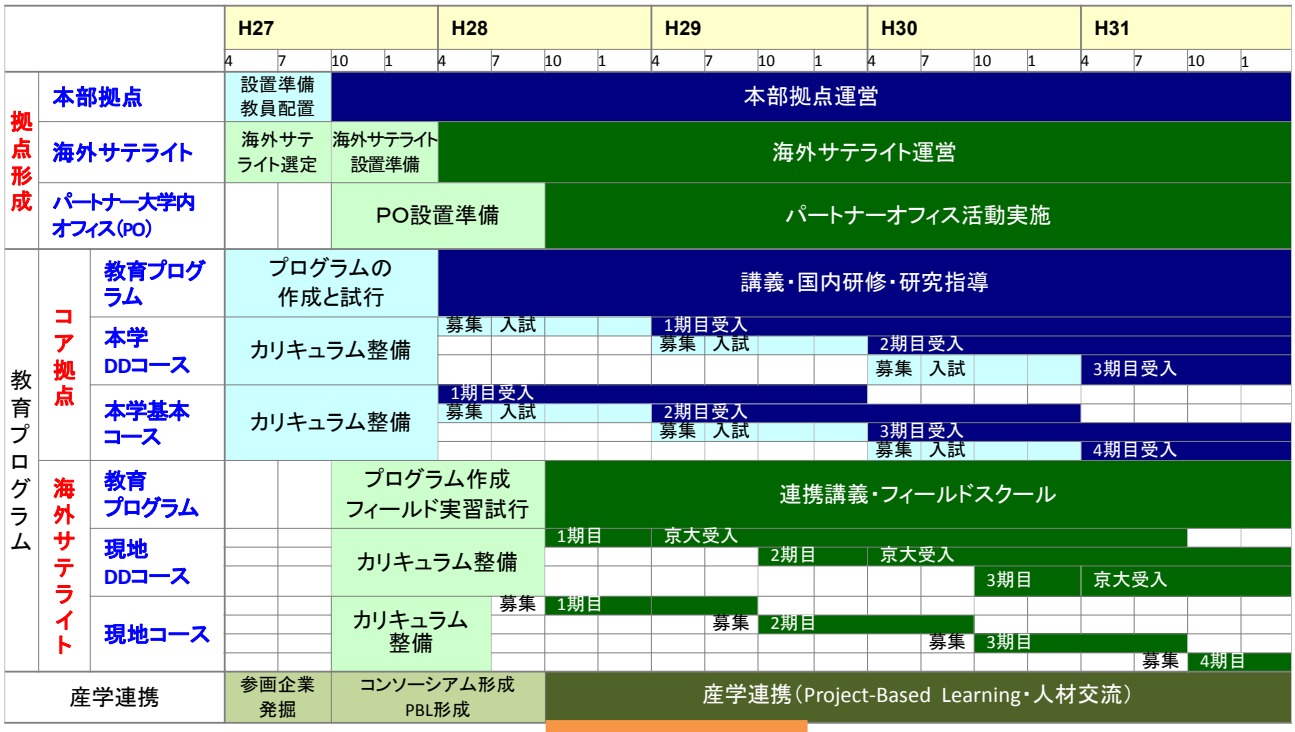
本学の機能強化「京大グローバルアカデミー構想」，国際戦略「2x by 2020」に貢献

- 本学ASEAN拠点を最大限に利活用し、「京大グローバルアカデミー構想」の一翼として大学教育の本格的な海外展開モデルを構築
- 本学「2x by 2020」の教育分野（留学受入・派遣，語学，国際インターンシップ）および国際貢献分野（地球規模課題解決，国際産学連携，ネットワーク）を推進
- 実践人材（修士）養成により，リーディング大学院の研究人材（博士）養成と両輪を担う。
- 年俸制，クロスアポイント制（現地大学教員採用）で大学の機動性を向上。持続的な海外拠点運営と外国人教員比率の増加。

海外サテライトの全日本的な共同教育研究への活用

- 海外拠点での運営ノウハウを蓄積し，国内外他大学と連携
- 世界展開力の海外大学連携，デュアル・ディグリーの取り組みを生かし，海外サテライト設置および共同実施科目開講により，より進んだダブル・ディグリーへ発展
- 海外での日系グローバル企業へのリカレント教育提供，国際産官学連携研究の推進

7. ロードマップ　京都大学



ASEAN横断型環境・社会イノベーターの創出

波及効果

- ✓ 多文化協働モデルによる教育のグローバル化
- ✓ ASEAN型多文化イノベーションの新機軸
- ✓ 国際産学連携を生かした実践人材育成モデル
- ✓ 日本企業のASEAN展開の起爆剤
- ✓ 相互の自助努力を基本とする海外拠点モデル

8. プロジェクト終了後の継続性に関する戦略・ビジョン　京都大学

海外サテライトでの教育サービスの充実

例えば，

- グローバル企業の現地スタッフ向けの海外サテライト・トレーニングコース
- グローバル企業の日本人駐在者向けの海外サテライトでの学び直し（リカレント）コース
  - サテライトでの週末コース，集中コースなど

→科目等履修生として拠点受け入れ，将来の本学での就学の足掛かりに。

→将来的な履修証明プログラム化を検討。

将来的な教育サービスの有償化（拠点の維持・運営）

日本企業のASEAN展開におけるワン・ストップ・サービス拠点

- 民間ニーズと連携した日本人/留学生人材双方の戦略的育成・供給
- 育成人材，現地大学，国内機関のネットワーク化
- 人・モノ・情報の集積による，民間企業のASEAN展開のコンサルティング・サービス

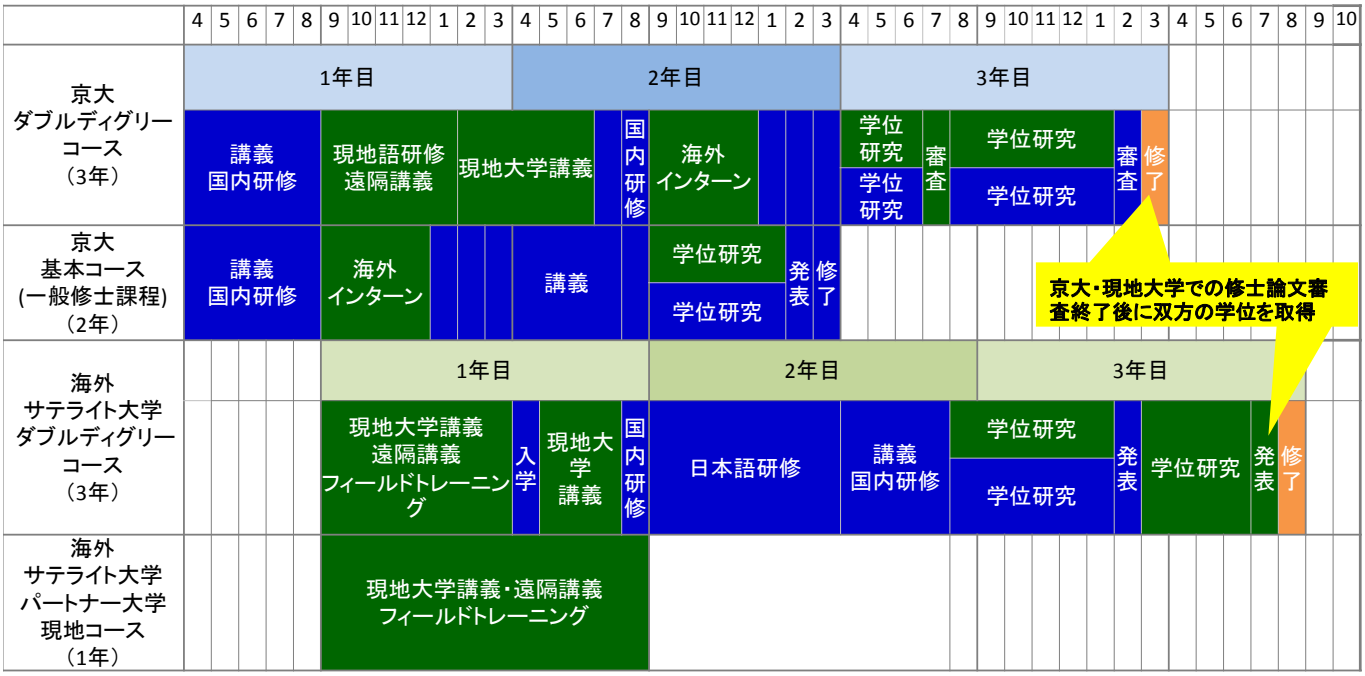
コンソーシアムの一層の強化・拡大
（拠点の寄付講座化，拠点人材の雇用）

将来的には自活できる拠点の運営を目指す。
同時に，現場の最前線として，ASEAN横断型研究のプラットフォームに。

参考資料一覧　京都大学

資料-1　教育コーススケジュール
資料-2　海外連携例：地球環境学堂のアジア地域へのインターンシップ協定先
資料-3　アジア地域への研修・出張（学堂教員・学舎学生、2011.4以降）
資料-4　海外サテライト事例：ハノイ
資料-5　各種の留学生（現地学生）研修プログラム
資料-6　各種プロジェクトでのASEAN大学との連携状況
資料-7　連携予定ASEAN大学への準備活動
資料-8　主要連携大学の修士教育課程
資料-9　語学研修のための講義他（京大・海外）
資料-10　優秀な留学生獲得のための選抜システム
資料-11　日系グローバル企業コンソーシアムの設立のための準備
資料-12　京大の他プログラムでのASEAN大学との協働状況
資料-13　学内関連事業との相違・連携
資料-14　民間企業への依頼事項

資料-1　修士課程教育コーススケジュール　京都大学



※ 海外サテライト大学のコーススケジュールは，ベトナムの大学のケースを想定。

資料-2　海外連携例：地球環境学堂のアジア地域へのインターンシップ協定先　京都大学

在海外機関

タイ	Eco-Community Vigor Foundation INSPARC
	Mahidol University /Faculty of Engineering
	UN/ISDR Asia and the Pacific
	UNEP/ROAP
	UNEP Regional Resource Centre for Asia and pacific
	Stockholm Environment Institute Asia Center
	UNESCO Bangkok
	Kasetsart University
	Chulalongkorn University
	Department of Civil Engineering, Burapha University
インド	University of Kalyani
	University of Madras, Guindy Campus
	Chilika Development Authority
	Kutch Nav Nirman Abhiyan
	SEEDS India
	Clombo University
	Navdanya
	Center for Environmental Planning and Technology Univ.
	The Energy and Resources Institute (TERI)
マレーシア	MERCY MALAYSIA（Asian Disaster Reduction Center)
	BKOoi Architect
	Universiti Kebangsaan Malaysia
	M.A.S(Malay Agricultural Sttlement)
	Dep. of Civil and Structural Engineering, Univ. Kebangsaan
	Universiti Malaysia Sabah
	ZedteeSdn.Bhd
ネパール	Private Farm of Hotel Dragon
	WIND IN NEPAL PVT LTD

ベトナム	Institute of Environmental Technology, Vietnamese Academy of Science and Tech
	Department of Artchitecture,Hue College of Sciences University
	CARD, Hue University
	Danang University of Technology
	CECI (Center d'etude et de cooperation internationale)
	UNESCO Hanoi
フィリピン	CAPS(The Center for Advanced Philippine Studies)
	Alternate Forum for Research in Mindanao(AFRIM)
	Centre for Initiatives and Research on Climate Adaptation(CIRCA)
	World Fair Trade Organization-Asia
	Philippine Society of Youth Science Clubs(PSYSC)
	UN /International Strategy for Disaster Risk Reduction (UN/ISDR)
中国	China Energy Research Institute of Energy System Analysis and Market Analysis Division
	The Hong Kong Polytechnic University
	Beijing Normal University
	Xinjiang Institute of Ecology and Geography of Chinese Academy of Sciences
	Xinjiang Pasturage Academy of Sciences
インドネシア	Asian Disaster Reduction Center
	ASEAN Secretariat
カンボジア	GERES
	Royal University of Agriculture
その他	National Yunlin University of Science and Technology （台湾）
	Centre for Remote Sensing and GIS “Terra” （カザフスタン）
	JADE Bangladesh （バングラデシュ）
	Champasack University （ラオス）
	Royal Society for Protection of Nature （ブータン）
	Sindh Forest Department‘s GIS lab in Hyderabad （パキスタン）
	National Parks Board （シンガポール）

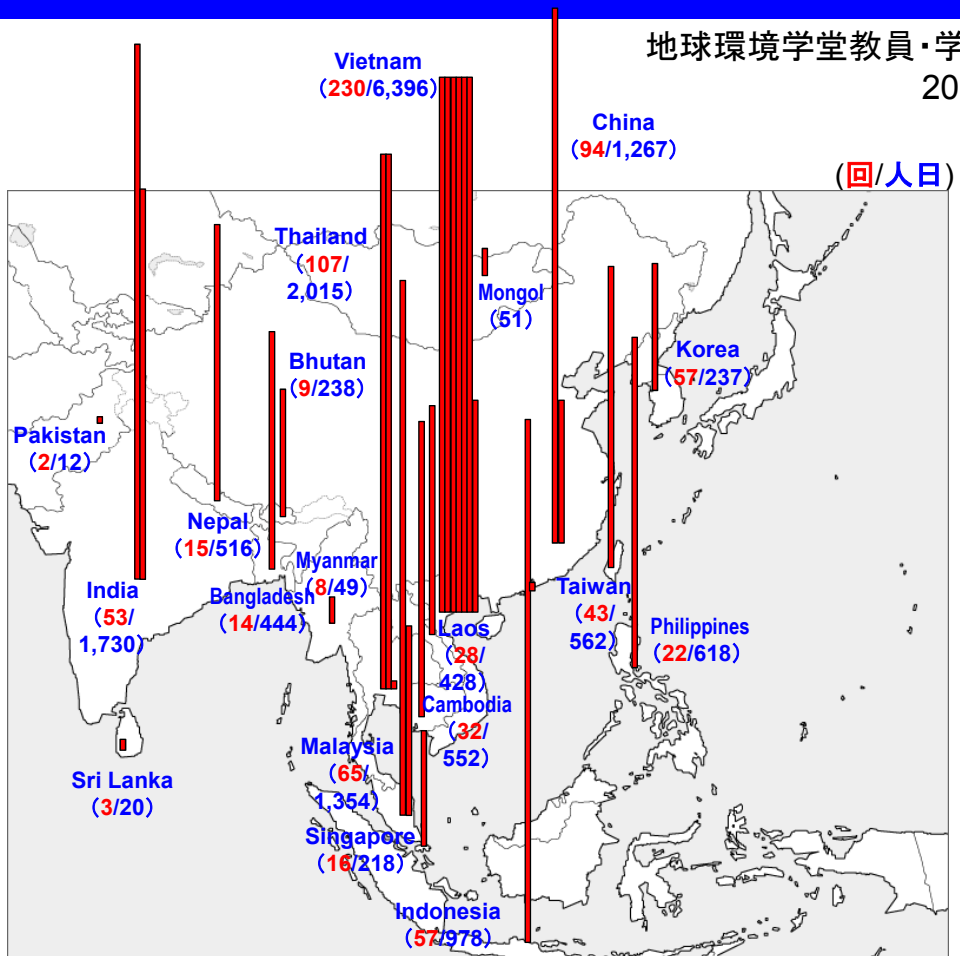
在国内国際機関

UNCRD(United Nations Centre for Regional Development)	UNEP-IETC
United Nations University	UNU Institute of Advanced studies Operating Unit of Ishikawa/Kanazawa
ADRC(Asian Disaster Reduction Center)	United Nations Industrial Development Organization ITPO Tokyo

資料-3　アジア地域への研修・出張

京都大学

地球環境学堂教員・学舎学生のみ
2011.4-2014.3



資料-4　海外サテライト事例：ハノイ

京都大学

京都大学－ハノイ理工科大学環境研究のための教育研究プログラム（ハノイフィールドキャンパス）

■　海外拠点の目的・概要

都市圏での多様な環境問題に関する教育研究活動の拠点となるべく，ベトナムの首都ハノイ市に位置するハノイ理工科大学環境理工学部内に，地球環境学堂が中心となり2008年12月より設置。

＊科学技術戦略推進費「環境マネジメント人材育成国際拠点」(FY2008-12)およびグローバルCOE「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」(FY2008-12)を契機に設置。

■　海外協力機関との提携内容

専有オフィス(20 m^3)，実験室(30 m^3)を整備。FY2012までは常駐特定教員1名，半常駐特定教員1名，現地スタッフ1名，現地研究員1名を配置(FY2013は現地スタッフ1名，出張ベースの担当助教1名)。

■　海外拠点での活動成果

○学生インターン研修受入と拠点来訪者：
延べ約1000日の学生受入(FY2008-12)，192名の訪問(FY2008-12)

○現地コース：
ハノイ理工科大学向け現地コースを19名の学生・若手スタッフが修了。

○学生募集とスクリーニング：
修士課程で19名応募，5名面談，および2名入学(FY2008-12)
博士課程で26名応募，15名面談，6名入学(FY2008-12)

○拠点活動の成果による学術論文・発表・受賞
査読付論文21件，国際学会発表33件，総説・解説論文2件，受賞5件

ハノイ拠点の実験室

現地コース参加者の様子

河川調査(Nhue川)

現地学生と施設見学する大学院生

資料-5　各種の留学生（現地学生）研修プログラム　京都大学

海外短期コース (28回183名）　国内短期コース (13回68名）

海外短期コース（28回183名）

1) 2009/08/20～2010/03/07(-3/11)（平均202日）ハノイ研修コースI（ハノイ），HUST2名修了.
2) 2009/08/26～2010/03/09（190日）　ダナン研修コースⅠ（ダナン・ハノイ），DUT2名修了.
3) 2009/11/03～2010/03/07（164日）　ハノイ研修コースⅡ（ハノイ），HUST2名修了
4) 2009/10/24～2010/03/09（136日）　フエ研修コースⅠ（フエ・ハノイ），HUAF3名修了.
5) 2009/11/03～2010/03/07（164日）　ハノイ研修コースⅡ（ハノイ），HUST2名修了.
6) 2009/08/26～2010/03/09（190日）　ダナン研修コースⅠ（ダナン・ハノイ），DUT2名修了
7) 2010/10/27～2011/02/08（105日）　フエ研修コースⅡ（フエ），Huoang Tra district）・英文レポート作成演習・英文研究レポート提出，フエ農林大8名修了.
8) 2011/02/01～2011/03/11（38日）　深セン分析研修コース（深セン），清華大4名修了.
9) 2010/10/27～2011/02/08（105日）　フエ研修コースⅡ（フエ），Huoang Tra district）・英文レポート作成演習・英文研究レポート提出，フエ農林大8名修了
10) 2011/02/01～2011/03/11（38日）　深セン分析研修コース（深セン），清華大4名修了
11) 2011/03/05～2011/04/11（38日）　インドシナ研修コースⅠ（ベトナム・カンボジア・ラオス），ラオス2名・カンボジア1名・ベトナム2名修了.
12) 2011/05/03(-10/31)～2011/03/05（281日）　ハノイ研究支援現地コースⅠ（ハノイ）ハノイ理工大6名修了.
13) 2011/06/09～2011/12/17（192日）　フエ研修コースⅢ－社会調査－（フエ），フエ農林大9名修了
14) 2012/03/05～2012/03/09（5日）　深セン研修コース（深セン），清華大5名修了.
15) 2011/10/08～2011/11/26（50日）　フエ研修コースⅣ－実験実習－（フエ），フエ農林大5名修了
16) 2011/06/09～2011/12/17（192日）　フエ研修コースⅢ－社会調査－（フエ），フエ農林大9名修了
17) 2012/02/28～2012/03/07（9日）　深セン研修コースⅠ（深セン），清華大6名修了.
18) 2012/03/05～2012/03/09（5日）　深セン研修コースⅡ（深セン），清華大5名修了.
19) 2012/06/15～2013/03/28（285日）　ハノイ研究支援現地コースⅡ（ハノイ），ハノイ理工大3名修了.
20) 2011/10/08～2011/11/26（50日）　フエ研修コースⅣ－実験実習－（フエ），フエ農林大5修了
21) 2012/08/04～2012/09/25（53日）　フエ研修コースⅤ（フエ），フエ農林大5名・フエ科学大2名修了.
22) 2012/09/15～2012/11/10（27日）　フエ研修コースⅥ（フエ），フエ農林大学部生8名修了.
23) 2012/10/20～2013/01/28（101日）　フエ研修コースⅦ（フエ），講義と演習（社会調査法）・社会調査・データ解析，フエ科学大11名修了.
24) 2012/02/28～2012/03/07（9日）　深セン研修コースⅠ（深セン），清華大6名修了
25) 2012/11/01～2012/12/27（57日）　フエ研修コースⅧ（フエ），フエ農林大14名修了.
26) 2013/01/28～2013/02/06（10日）　ダナン研修コースⅡ（ダナン），DUT7名修了.
27) 2013/01/29～2013/02/22（25日）　フエ研修コースⅨⅠ（フエ），フエ大学部生13名修了.
28) 2012/06/15～2013/03/28（285日）　ハノイ研究支援現地コースⅠ（ハノイ），ハノイ理工大4名修了

国内短期コース（13回68名）

1) 2009/10/11～2009/10/24（14日）　技術研修コースⅠ（京都府・滋賀県），TU4名修了
2) 2010/04/01～2011/03/25（359日）　JENNESYプログラム，ベトナム院生7名(HUST2，DUT2，HUAF3)修了
3) 2010/07/04～2010/07/11（8日）　RESD2012京都大学研修コース（京都府・滋賀県），清華大2，同済大学2，POSTEC1，KAIST1修了.
4) 2010/07/29～ 2010/08/08（8日）　京都大学国際交流科目フエ学生招聘コース2010（京都府・愛媛（西条）），フエ農林大学8名・フエ経済大学3名修了
5) 2010/08/01～2010/10/31（92日）　技術研修コースⅡ（京都府・滋賀県），清華大学1名修了.
6) 2010/04/01～2011/03/25（359日）　JENNESYプログラム，MC6+DC1，HUST2，DUT2，HUAF3修了
7) 2011/07/28～2011/08/12（16日）　技術研修コースⅢ（京都府・滋賀県），TU5名修了
8) 2011/09/27～2011/10/26（30日）　JSPS若手招聘プログラム，チュラロンコーンDC1名・ハノイ理工大研究員1名・マレーシア国民大MC1名修了.
9) 2011/11/11～2011/11/30（平均24日）　ライフとグリーン学生招聘コースⅠ（京都府），フエ院生3名（HUST2，HUSF1）修了.
10) 2012/10/28～2012/11/10（14日）　技術研修コースⅣ（京都府・滋賀県），TU5名（北京2，深せん3）修了.
11) 2013/01/14～2013/03/21（平均63日）　ライフとグリーン学生招聘コースⅡa（京都府），インドネシア6名（バンドン工科大学3，スラバヤ工科大学2，ボゴール農業大1）・フエ農林大1名修了，特別経費（概算要求「ライフとグリーン」）およびJASSOのSSプログラム予算での招聘学生.
12) 2013/01/15～2013/03/15（平均49日）　ライフとグリーン学生招聘コースⅡb（京都府），院生3名（ボゴール農業1，フエ科学大1，ニャチャン大1），特別経費（概算要求）「ライフとグリーン」での招聘学生.
13) 2014/04/10～2014/09/21（平均164日）　ライフとグリーン学生招聘コースⅢ（京都府），院生6名（ボゴール農業2，バンドン工科大学2,ハノイ理科大学1，フエ科学大1，），特別経費（概算要求）「ライフとグリーン」での招聘学生.

資料-6　ASEAN大学との連携に向けた準備活動　京都大学

ASEAN諸国大学との教育・研究連携に向けた大学間ワークショップ

2010/03/06-07	第1回（フエ）	5ヶ国・11大学・46名参加
2010/05/24	第2回（京都）	5ヶ国・7大学・47名参加
2011/03/07	第3回（フエ）	4ヶ国・6大学・50名参加
2012/03/08-11	第4回（シェムリアプ）	4ヶ国・7大学・62名参加
2013/03/07	第5回（京都）	8ヶ国・13大学・47名参加
2013/09/16	第6回（ホイアン）	5ヶ国・12大学・96名参加
2014/03/25	第7回（京都）	7ヶ国・11大学・30名参加

ASEAN諸国大学関係者による京大訪問

2012/10/01	タイ	チュラロンコン大学教員・学生20名に大学院教育プログラムの説明
2013/03/20	ベトナム	フエ市長・外務部長ら8名で教育連携について意見交換（フエ農林大学との遠隔会議併催）
2013/12/09	インドネシア	バンドン工科大学教員ら3名と大学院教育連携について意見交換
2013/12/17	ベトナム	国家大学ハノイ校学長ら3名と教育連携について意見交換
2014/02/15	ベトナム	ダナン大学総長・国際部長ら3名と共同学位プログラム設計について意見交換
2014/02/19	ベトナム	教育訓練省副大臣・国際教育開発局長・科学技術環境局長ら12名と共同学位プログラム・留学生受入れについて意見交換（ハノイ理工科大学・フエ農林大学・ダナン大学との遠隔会議併催）
2014/03/05	タイ	AIT副学長らと共同教育プログラムについて意見交換
2014/04/07	タイ	マヒドン大学学長らと共同教育プログラムについて意見交換

ASEAN諸国大学・関連機関訪問、留学フェア出展

2008/05/26	JERTROハノイ事務所・JBICハノイ事務所訪問
2008/05/29	在ベトナム日本大使館・JICAベトナム事務所訪問
2008/07/21	在マレーシア日本大使館訪問
2008/08/21-22	チュラロンコン大学環境工学科・在タイ日本大使館訪問
2008/08/25	カセサート大学でEMLプログラムの説明
2008/11/20-22	チェンマイ・バンコク日本留学フェア出展
2008/11/24	マヒドン大学土木工学科委教員・学生説明会
2009/09/11	マレーシアエ科大学教員・学生説明会
2009/09/16	ハノイ理工科大学Japan Study Workshop
2009/10/29	JICAベトナム事務所訪問
2009/11/19-20	アジアエ科大学・JICAタイ事務所訪問
2010/03/08	ハノイ日本留学説明会出展
2010/06/03	JICAベトナム事務所訪問
2010/09/18	ハノイ日本留学フェア出展
2011/01/15	ダナン大学京大留学セミナー
2011/02/27	ベトナム国家大学ハノイ校日本留学説明会
2011/05/14-15	ジャカルタ・バンドン日本留学フェア出展
2011/09/17	ベトナム国家大学ハノイ校G30日本教育セミナー
2012/03/21	カセサート大学・チュラロンコン大学訪問
2012/09/14-16	チェンマイ・バンコク日本留学フェア出展
2012/09/24-25	スラバヤ・ジャカルタ日本留学フェア出展
2012/11/17	カンボジア日本人材センター日本留学フェア出展
2012/11/22	ダナン日本留学フェア出展
2012/12/08	クアラルンプール・FACON国際教育展出展
2013/10/25-26	スラバヤ・ジャカルタ日本留学フェア出展

資料-7　連携予定ASEAN大学への準備活動（H25年度）　京都大学

		教育・研究連携シンポ等				京大への訪問	各大学への訪問	学会等での面談/会談				
		#1	#2	#3	他			#8	#9	#10	#11	#12
中国	清華大学深セン校			●	#4							
ベトナム	ハノイ国家大学				#5	学長ら(2/17*$)					●*$	
	ハノイ理工大学	●	●	●			学長（12/20*$）	●$	●$		●*$	●$
	フエ大学	●	●	●		農林大副学長(11/27)		●$		●$		
	ダナン大学	●	●	●	#6	学長ら(2/17*$)		●$				
タイ	マヒドン大学	●		●		学長（次年度4/7$）	11/23$					
	コンケン大学	●		●								
インドネシア	ボゴール農業大学	●		●		学長（8/25*$）						
	バンドン工科大学			●					●$			
マレーシア	マラヤ大学				#7							
カンボジア	王立農業大学	●		●								
ラオス	チャンパサック大学	●		●								
ミャンマー	ヤンゴン工科大学					3/3＄	元学長(10/1＄)		●$			

#1JSPS Core-to-Core Program（9/16、ベトナム・ホイアン）The First International Symposium on Formulation of the cooperation hub for global environmental studies in Indochina region (6.16, ベトナム・ホイアン)
#2　JSPSミーティング(11/27, 京都)
#3　The 7th Extended Inter-university Workshop on Research and Educational Collaboration in Indochina Region (3.25, 京都）The First International Symposium on Formulation of the cooperation hub for global environmental studies in Indochina region (6.17, ベトナム・ホイアン)
#4 日中環境技術共同研究・教育の促進に関するシンポジウム(12/14, 中国深セン)
#5 地球環境フォーラムーベトナム研究ー（2/15、京都）
#6 Workshop on the development and evaluation of Water Reuse Technologies for the Establishment of 21st Century Type Water Cycle System (3/10, ベトナムダナン)
#7 JSPS「リスク評価に基づくアジア型統合的流域管理のための研究教育拠点」第3回包括シンポジウム（10/28-29、宇治）
#8 Environmental Technology & Management towards Green Development Conference (9/5-6, ベトナムハノイ）
#9 The 6th ACEC and the 6th AEEC (Regional Conference of AUN/SEED-Net, 11/21-22, Bangkok)
#10 International Environment and Disaster Management; Education, Research and Action Linkages (12/12-13、京都)
#11 神戸大学・京都大学・大阪大学シンポジウムinハノイ（12/21、ハノイ）
#12 14th Kyoto University Southeast Asia Forum (11/30、ハノイ）

資料-8　主要連携大学の修士教育課程　京都大学

国	大学名	学期			修了要件				英語提供科目
		前期	後期	学位授与	年限	単位数	内必修	互換可	
ベトナム	ハノイ理工科大	4月-7月	10月-1月	6-7月・12-1月	1-2年	54	38	-	-
	フエ農林大	10月-2月	3月-7月	5-6月	2年	45	35	-	16科目（48単位）
タイ	マヒドン大	8月-12月	1月-5月	7月	2年	38	32	7	全科目
	コンケン大	8月-12月	1月-5月	6-7月	2年	45	5	12	国際コース全科目
インドネシア	バンドン工科大	8月-12月	1月-5月	7月	1.5年	36	31-35	協議	基本は一人でも留学生がいれば英語で授業を行う
	ボゴール農業大	9月-1月	2月-6月	9月-6月	2-4年	39-41	29-32	21	18科目58単位
ラオス	チャンパサック大	10月-2月	2月-6月	-	-	-	-	-	-
カンボジア	王立農業大	9月-2月	3月-8月	3月・9月	2年	48-50	13-15	協議	全科目
中国	清華大	9月-1月	1月-7月	6-12月	2-3年	25	15	-	14科目
（参考）	京大 地球環境学舎	4月-7月	10月-2月	3月	2年	30	21	10	44科目67単位

※各大学への聞き取り調査による

資料-9　語学研修のための講義他（京大・海外）　京都大学

1. 日本語研修(国際交流センター提供)

•基本研修クラス：初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級Ⅰ、中級Ⅱ、上級の5段階(初級Ⅱ以上はプレースメントテストを実施、受講期間は4月、10月始まりの半期)。

•その他「ビジネス日本語コース(中級Ⅲ以上の留学生対象)」や「日本語予備教育集中プログラム(予備期間の国費留学生対象)」がある。

2. 現地語研修(アジア・アフリカ研の現地語提供科目)

•研究科提供科目であるが、基本的には誰でも受講可能。

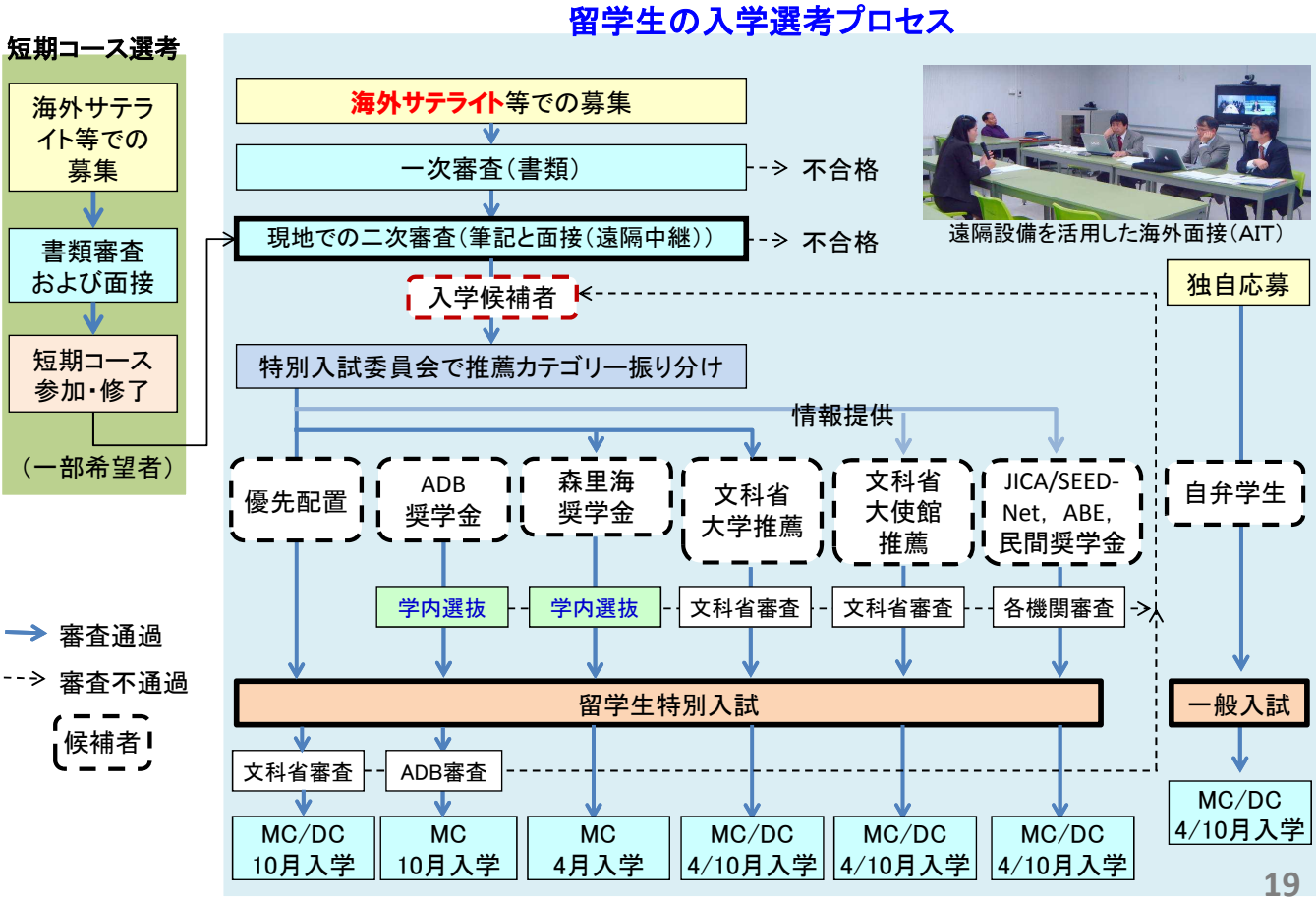
•現地語科目(ASEAN地域)：タイ語、インドネシア語、ミャンマー語、ベトナム語、ラオス語

3. 現地語研修(ASEAN連携大学における語学研修)

•連携大学へのアンケートによる現地語コース開設状況

国	大学名	提供主体	対象	期間	授業数	費用	備考
ベトナム	ハノイ理工科大学	―					個別にアレンジ可
	フエ大学	外語大	初級～上級	3/6ヶ月	2h×3回/週	$200を折半	個別にアレンジ可
タイ	マヒドン大学	研究科	初級	2ヶ月	4h/週	THB300	
	コンケン大学	学部	初級	4ヶ月	2-3回/週	無料	
インドネシア	バンドン工科大学	国際部	初級	通年	2h/週	無料	
	ボゴール農科大学	イネ語専攻	初級・中級	調整可	2-4回/週	$65/50h	
ラオス	チャンパサック大学	語学センター	初級	通年			
カンボジア	王立農業大学	―					
中国	清華大学	―					

資料-10　優秀な留学生獲得のための選抜システム　京都大学



資料-11　日系グローバル企業コンソーシアムの設立準備　　京都大学

現地語を使える理系人材等に対するニーズ民間企業調査：

- 現地語をしゃべれる技術系日本人がいれば（毎年は無理だが）是非採用したい。（クボタ環境サービス(社長)）
- 現地語をしゃべれる技術系日本人あるいは日本語をしゃべれる技術アジア人がいれば（毎年は無理だが）是非採用したい。ただし、中国語はすでに十分いる。（Hitz日立造船（第一技術部長））
- 出光が初めての海外進出としてベトナムに精油所を建設中であり、ベトナムを知る地球環境学堂の学生には非常に魅力ある。（出光）
- 英語+アジアの言語に対応できる学生がいればぜひほしい。一般的な需要として中国語のできる人材のニーズはかなり高いが、タイ、ベトナム、インドネシアも需要がある。（商社）
- その他のヒヤリング先：月島、日水コン、パシフィックコンサルタント、オルガノ、新日鐵エンジニヤリング

今後の予定：

1. 民間等アンケートを多数の企業に実施し、ニーズを定量的に把握。
2. 上記に基づき、海外インターン研修受入・修了生雇用に積極的な会社を訪問、コンソーシアムへの参加依頼。
3. コンソーシアムの機能・役割の精査の後、設立

参考：環境技術共同研究・教育センター協議会（エ・深セン拠点の民間応援団）の活用

太陽築炉工業 、 タクマ 、川崎重工業、日立造船、太陽アーモ、西原環境、住友重機械工業、住友重機械エンバイロメント、三菱電機先端技術総合研究所、中外炉工業、DOWA エコシステム ウェステック事業部、クボタ 水・環境総合研究所、メタウォーター 、大阪ガス エネルギー事業部、水ing 、岩崎電気、JFEエンジニアリング、新日鉄住金エンジニアリング、カネカ、神鋼環境ソリューション、ビーエルテック、前澤工業、三菱電機先端技術総合研究所、明電舎、月島機械、三機工業、三井造船

資料-12　学外・学内他プログラムでのASEAN大学との協働　　京都大学

国　名	大　学 ＜連携大学(黄色地) うち拠点3大学(赤字)＞	世界展開力 (大津先生)	世界展開力 (縄田先生) AUN26＋1大学	世界展開力 (落合先生)	京都大学 大学間交流協定	AUN (ASEAN大学連合) (10カ国26大学)	AUN-SEEDS (10カ国19大学)	大メコン圏 学術交流 ネットワーク
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校	●	●	●	●	●		
	ハノイ理工科大学				●		●	●
	ベトナム国家大学ホーチミン校		●			●		●
	ホーチミン工科大学						●	
	フエ大学				●			
	ダナン(工科大学)				●			
	ベトナム社会科学院			●				
	ベトナム社会開発研究所			●				
タイ	カセサート大学	●	●		●			
	タマサート大学			●	●			●
	チュラロンコン大学	●	●	●	●	●	●	
	マヒドン大学		●			●		
	コンケン大学							●
	チェンマイ大学		●			●		
	モンクット王工科大学ラカバン						●	
	ブラパ大学		●			●	●	
	アジア工科大学	●						●
ラオス	ラオス国立大学		●		●	●	●	●
	チャンパサック大学							
カンボジア	王立農業大学							
	王立プノンペン大学		●			●		●
	カンボジア工科大学						●	●
	王立法学経済学大学		●			●		
ミャンマー	ヤンゴン工科大学		●			●	●	●
	ヤンゴン大学						●	
	経済大学		●			●		
マレーシア	マラヤ大学	●	●		●	●	●	
	マレーシア科学大学		●			●	●	
	マレーシア国民大学		●			●		
	プトラマレーシア大学		●	●		●		
インドネシア	バンドンエ科大学	●	●		●	●	●	
	インドネシア大学		●	●	●	●		
	ガジャマダ大学		●	●	●	●	●	
	ボゴール農業大学				●			
	ハサヌディン大学			●				
	アイルランガ大学		●			●		
その他 ASEAN諸国	シンガポール、フィリピン、ブルネイ		シンガポール3大学 フィリピン3大学 ブルネイ1大学	シンガポール1大学 フィリピン1大学	シンガポール1大学	シンガポール3大学 フィリピン3大学 ブルネイ1大学	シンガポール2大学 フィリピン2大学 ブルネイ2大学	
中国	清華大学				●			3大学

資料-13　学内関連事業との相違・連携　京都大学

	強靭な国づくりを担う国際人育成のための中核拠点	人間の安全保障」開発を目指した日アセアン双方向人材育成プログラムの構築	「開かれたASEAN+6」による日本再発見―SENDを核とした国際連携人材育成/京都大学アジア研究教育ユニット	海外サテライト形成によるASEAN横断型環境・社会イノベーター創出事業
期間	H23-27	H24-28	H24-28	H27-
参加部局	**工学研究科**(**都市社会工学専攻、社会基盤工学専攻、都市環境工学専攻**)、経営管理教育部・研究部(文理融合)、**地球環境学堂**(学際部門)、工学研究科(安寧の都市ユニット)(医工連携)、防災研究所(学際部門)	**農学研究科**、エネルギー科学研究科、医学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、エネルギー理工学研究所、東南アジア研究所	文学研究科、経済学研究科、経営管理大学院、アジア・アフリカ地域研究研究科、教育学研究科、**農学研究科**、東南アジア研究所、人文科学研究所、**国際交流センター**	地球環境学堂、農学研究科、工学研究科、人間・環境学研究科、国際交流推進機構
目的	**グローバル人材の育成**			
	災害に対する強靭な国づくりを担うリーダー養成	地球規模で発生する深刻かつ多様な課題の解決に貢献し、学術領域とともに国境を越え地域と共鳴し相乗効果を生み出す実行型の国際人を育成	国際連携大学院プログラムによるグローバル人材育成(統合的アジア研究の専門家を養成)	環境・社会問題の地域性を理解できる技術系グローバル人材のニーズに対応した**地域理解に根差す理系人材の育成**
対象	修士・博士	修士	学部～博士	修士
教育内容	相互教育交流(コース)	2年課程ダブル・ディグリー 3年課程ダブルディグリー 2年間のシングルディグリー	ダブルディグリー(博士)	3年課程ダブルディグリー 2年課程シングルディグリー 現地コース
派遣招聘	学生の招聘・派遣(短期)	学生の招聘・派遣(学位留学)	学生の招聘・派遣(短期)	学生の招聘・派遣(**長期**・短期) 学生の招聘・派遣(学位留学)
	国際協働講義シリーズ 集中講義	**大学間連携講座・集中講座の相互補完**	系統講義「京都で学ぶアジアと日本」と英語科目・多言語多文化科目	大学間連携講義 集中講義 語学・文化研修

学位相互授与制度の整備の連携

語学・文化研修の連携

世界展開力事業の海外教育プログラムの強化

京都大学海外拠点
(ASEAN拠点・ハノイオフィス)

海外拠点活動支援・情報共有

海外サテライト形成
海外日系企業を主とした**コンソーシアムの形成による産学連携**

資料-14　民間企業へのお願い　京都大学

依頼事項:

(1)コンソーシアム(詳細は検討中)への参画
(2)修了生の就職受入
(3)実務経験授業・PBL提供
(4)現地企業インターンシップ学生受入
(5)産学連携研究
(6)従業員のリカレント教育参加
(7)寄付講座・奨学金の提供

メリット

(1)現地語を使える日本人技術者の雇用
(2)日本語を使える外国人技術者の雇用
(3)現地事業への参画機会増
(4)従業員の教育
(5)現地産官学との連携強化